

狛江市民センター改修を考える
 狛江市の新図書館を考える
市民ワークショップかわら版

合併号

合同ワークショップ
 「新しい市民センター図書コーナーの機能・配置・面積を考えよう」
**図書コーナーの使いかたや、
 どんな機能を備えるか考える！**



令和4年4月10日(日)、「狛江市民センターを考える市民ワークショップ」(狛江市の新図書館を考える市民ワークショップ)の合同ワークショップを開催し、総勢31名の方にご参加いただきました。現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは市民の皆さんから意見をいただくことを目的としています。

今回のテーマは「新しい市民センター図書コーナーの機能・配置・面積を考えよう」。はじめに各ワークショップの前回の結果の振り返りや、他自治体の類似施設の事例紹介などを行いました。

グループワークでは、4チームに分かれ、新しい市民センターに設置される図書コーナーに関して、必要な機能やスペース、市民センターの機能との連携や新図書館との機能分担などについて話し合っていました。

グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見 (一部抜粋)



- ・子育てに関するコーナー
- ・受付や受け取りのみとする
- ・電子図書の閲覧が可能となる機器を設置する
- ・市民活動支援センターと図書コーナーを合わせてフリーに話せる場とする
- ・児童用のみだと一緒に来た大人が読む本がない
- ・新図書館の内容が決まっていないため、図書コーナーを先に決めるのは難しい

- ・他市との連携、学校との連携
- ・子どもと大人は別々のスペースが必要
- ・小さいながらも魅力的な図書館づくりを考えるべき
- ・これからも市民参加の図書館になってほしい
- ・電子図書はコロナ対応だけでなくシニア層や身体の不自由な方に向けても充実させてほしい
- ・持込本のデジタル化対応
- ・大型のコピー機を設置して大きい資料の出力を可能にしてほしい
- ・ブックカフェ形式として交流機能を備えたい
- ・コワーキングスペースは不要
- ・図書館機能を市民センターに残すため1500-2000㎡程度欲しい
- ・特に女子トイレの個数を増やしてほしい
- ・図書館とは機能を分ける

うさぎ
 チーム



- ・お年寄り、子ども、親子連れなどがゆっくり過ごせる場所にしたい
- ・児童書や雑誌を設置する
- ・電子図書を置いてほしい
- ・公民館のフリースペースと併設し、150㎡程度で良いのではないかと

- ・狛江市民みんなが幸せになる空間としたい
- ・狛江の事情や特徴を知ってもらうため、多摩川の水害の情報や、これからの狛江を考えるための場所
- ・子どもを中心とした図書コーナーであってほしい
- ・広い駐輪場が必要
- ・賑やかなスペースと静かなスペースを分けるためテラスなども活用
- ・障がいのある方、お年寄りの利用を考えたトイレ
- ・読みたい本を見つけるために相談できるスタッフやシステム

ひつじ
 チーム



次回予告！

次回のワークショップは令和4年5月15日(日)に実施します。テーマは市民センター改修ワークショップは「ブロックプランを考える」、新図書館ワークショップは「新図書館の施設と空間を考えよう！」です。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。ワークショップの全ての意見が載っている全録版もこちらからご覧ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP

